

ACSS校正サービス



JCSS

「質量」「はかり」「一軸試験機」区分登録事業者番号



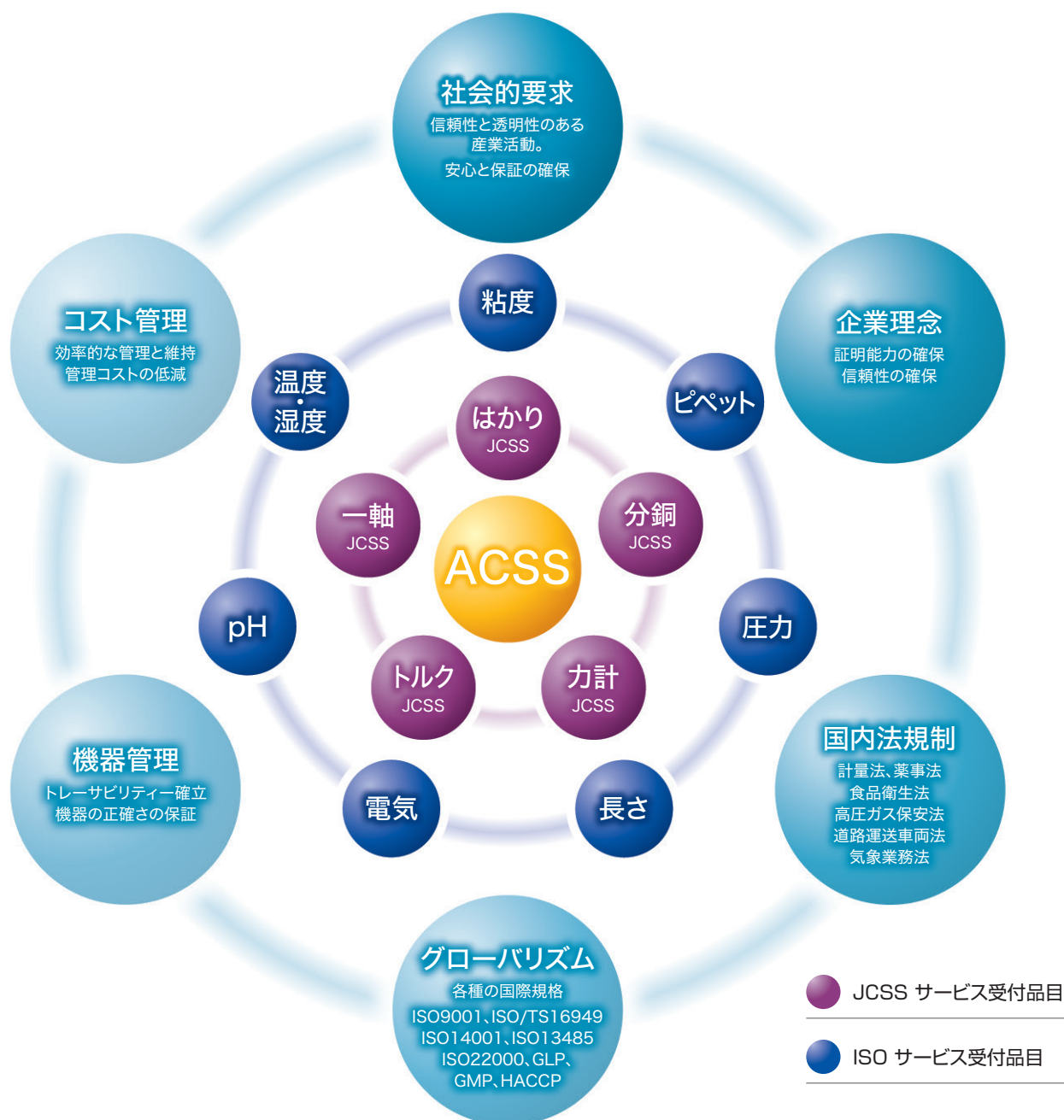
JCSS

「力」「トルク」区分登録事業者番号

ACSS (A&D Calibration Service System)

エー・アンド・デイが提供するJCSS校正を中心とした校正・点検サービスの総称です。

エー・アンド・デイが提供するACSSは、
お客様が必要とする様々な校正サービスを、総合的にサポートします。



『 社会的要求 』『 企業理念 』『 国内法規制 』『 グローバリズム 』『 機器管理 』『 コスト管理 』・・・このような要求にお応えします。

様々な製品を取り扱う計量・計測器メーカーとしてエー・アンド・デイでは5つのJCSS校正品目の他に、更に6つのISO校正も弊社グループにて一括して承ることができます。

計量・計測器メーカーの安心・安全なサポート体制に加え幅広い校正品目をお任せ頂くことができます。

また、他社の製品についても合わせて校正を承ります。弊社製品に限らず、他社製品も合わせて校正を行うことによる台数割引も適用いたしますので、是非ご相談ください。

JCSS校正 (Japan Calibration Service System)

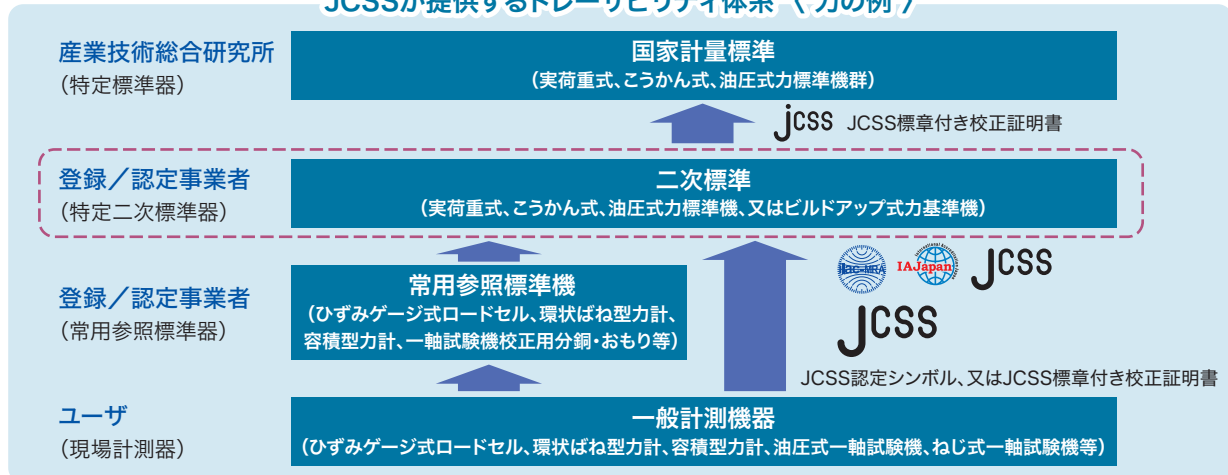
計量・計測器の校正をする民間の事業所に対し、その能力を国の機関が審査し、合格した事業者が、校正認定事業者としてJCSSLロゴマーク付の校正証明書を発行できます。

校正品目：はかり・分銅・一軸試験機(引張・圧縮試験機)・力計・トルクメータ

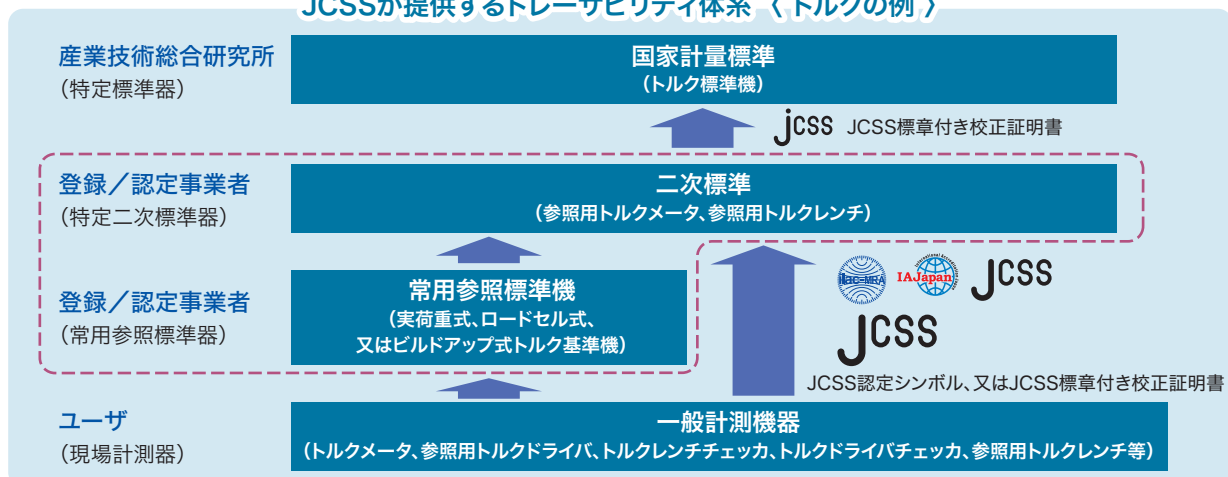
発行可能な証明書は、「JCSSL校正証明書」です。

国家計量標準から繋がっている事を公に証明できる[計量のトレーサビリティの証]となります。

JCSSが提供するトレーサビリティ体系〈力の例〉



JCSSが提供するトレーサビリティ体系〈トルクの例〉



国際MRA対応JCSSL認定事業者：エー・アンド・デイおよびリトラはJCSSL校正事業者の中で、さらに国際MRA対応認定事業者として認定されており、当社が発行するJCSSL認定シンボル付き校正証明書は、米国、ヨーロッパ諸国、韓国、中国等のILAC/MRA署名認定機関の国々で受け入れが可能です。受け入れ国についての詳細はIAJapanホームページを参照ください。



「質量」「はかり」「一軸試験機」
区分登録事業者番号



「力」「トルク」
区分登録事業者番号

ACS校正 (A&D Calibration Service)

当社認定技術者が、SOP(当社の標準作業手順書)に基づく点検・校正を行います。

校正品目：はかり・一軸試験機(引張・圧縮試験機)・力計・分銅・トルクメータ

発行可能な証明書は、「校正証明書」、「検査成績書」、「トレーサビリティ体系図」です。

ISO校正

ISOに適合した校正を行います。

校正品目：温度・湿度・粘度・圧力・長さ・pH・電気

発行可能な証明書は、「校正証明書」、「検査成績書」、「トレーサビリティ体系図」です。

※ ACSとは、別料金体系となります。

ACSS(A&D キャリブレーション・サービス・システム)体系図



ACSS対象品目

ACSS対象品目	工場出荷時校正		現地校正		恒久施設校正(引取)	
	JCSS校正	ACS校正	JCSS校正	ACS校正	JCSS校正	ACS校正
はかり	○	○	○	○	△※1	△※3
一軸試験機	△※1	△※1	○	○	—	—
力計	○	○	—	○※2	○	○
分銅	○	○	—	—	○	△※4
トルク計	○	○	—	—	○	○
ピペット	準備中	○	—	—	準備中	○

※1 お客様の現地校正を推奨いたします。

※2 力計で、現地での特殊ロードセル及び大容量校正(10N~30MNまでの圧縮荷重)が可能です。別途ご相談ください。

※3 引取でのばかりACS校正は、修理料金の体系での取扱いとなります。お問い合わせください。

※4 別途ご相談ください。

一般(ISO)校正対象品目 (修理料金体系)	工場出荷時校正	現地校正	恒久施設校正(引取)
温湿度	○	—	○
粘度	○	○	○
圧力	○	—	○
長さ	○	—	○
pH	○	—	○
電気量	○	—	○
ピペット	○	—	○

※ 工場出荷時校正とは・・・工場から製品が出荷される前に検査/校正を実施し、証明書を発行するサービスです。

※ 現地校正とは・・・弊社認定技術者がお客様を訪問し、現地に点検・校正を実施するサービスです。

※ 恒久施設校正とは・・・弊社の施設にお客様の校正依頼品をお預かりして点検・校正を実施するサービスです。

ACSSの形態

- **工場出荷時校正** (出荷時から格安な校正サービスを提供)
- **現地校正** (弊社認定技術者によるサポート)
- **恒久施設校正** (特殊な計測・計量器は引取校正になります)

各種証明書を発行する上で必要となるお客様情報は「企業名、住所、電話番号」です。また、お申込みに際して ご担当者様の連絡先(所属部署、ご担当者名、E-mailアドレスなど)をお知らせいただいた上で、次回校正期限の時期が近づいた場合に「校正期限のお知らせ情報」を弊社からご連絡させていただきます。(※申込み時に校正の詳細内容で不明な点を弊社より確認させていただく場合がございます。)

ACSSでは、お申込み頂いたお客様情報を弊社にて管理いたしますので、お客様の翌年以降の校正に関する管理業務の合理化が可能です。(登録させて頂くお客様情報は個人情報保護法案に基づき、校正や新製品のご案内を目的とし、法律上正当に要求された場合を除いて、第三者に譲渡及び提供は致しません。)

お客様会社名
お客様住所

計量器の設置場所

トルクメータ

[illegible]

AND

試験番号の3頁目

採用番号書	募集*****号
-------	----------

5. 試験問題 A・試験時間 80 分

6. 正解率

No. (号)	正解率 (%)	得点 (得点)	正解率 (%)
1	0 点	200 点	100.00 点
2	0 点	80 点	50.00 点
3	0 点	100 点	100.00 点
4	0 点	100 点	100.00 点
5	80 点	50 点	50.00 点
6	80 点	100 点	100.00 点

7. 正答結果

試験時間	正答率	得点	試験時間 (%)
0 分	200 点	0.000 点	0.000 点
0 分	50 点	0.020 点	0.010 点
0 分	100 点	0.020 点	0.010 点
0 分	100 点	0.020 点	0.010 点
80 分	50 点	0.000 点	0.010 点
80 分	100 点	0.000 点	0.020 点

備考

- 試験時間 30 分、包含時間 A=2 とした。
- 正答率 100%
- 試験時間 200 点
- 試験時間 200 点
- 試験時間 200 点
- 試験時間 200 点

試験時間 20 分 (A1-A10)

ACSS品目 質量（はかり・電子天びん）校正のご案内

ACSS品目 質量（はかり）校正は、工場出荷時および、お客様の現地におけるJCSS校正またはACS校正を主軸とした校正サービスです。

弊社としましては、校正後にはかりの輸送を伴わない現地校正をお奨めします。

※ 校正対象を当社に引取り実施する恒久施設校正での、ACS校正料金は修理料金体系での取扱になりますのでご注意ください。

ご提供プラン

① 工場出荷時校正

（税抜）

料金体系（基本料金 + 校正料金 + 証明書発行手数料 + その他）		
	JCSS校正	ACS校正
基本料金	なし	なし
校正料金	● 〈表A〉校正料金表（JCSS校正）に基づく	● 〈表A〉校正料金表（ACS校正）に基づく
証明書内容・料金	JCSS校正証明書（校正料金に含まれる）	校正証明書、検査成績書、トレーサビリティ体系図（校正料金に含まれる）
その他	なし	なし

●：校正を行う製品の台数分必要

〈表A〉校正範囲・校正料金表（1台あたり）

（税抜）

はかりの能力タイプ	JCSS校正	ACS校正
	校正料金（証明書料金込み）	
目量 0.001 mg	¥60,000	¥10,000
目量 0.01 mg	¥40,000	¥10,000
目量 0.1 mg	¥24,000	¥10,000
ひょう量 12 kg 以下	¥18,000	¥10,000
ひょう量 100 kg 以下	¥24,000	¥10,000
ひょう量 200 kg 以下	¥40,000	¥10,000
ひょう量 300 kg 以下	¥70,000	¥10,000
ひょう量 600 kg 以下	準備中	¥10,000
ひょう量 1200 kg 以下	準備中	¥10,000
目量の数 3000 d 以下 （ひょう量 12kg 以下のモデルのみ）	¥15,000	¥10,000

- 一製品の能力が、「はかりの能力タイプ」項で重複する場合、校正料金の高い方の能力タイプが適用されます。
（例：目量0.01mg/0.1mgの複目量のはかりの場合、目量0.01mgの料金が適用されます。ひょう量12kgを超える場合、目量の数3000d以下でも、「ひょう量100kg以下」/「ひょう量200kg以下」の料金が適用されます。）
- 水分計（MS/MX/MF/MLシリーズ）について、ACS校正（質量と温度）の校正料金は¥10,000（税抜）となります。
JCSS校正は質量計の部分のみ可能です。この場合の証明書類は、質量計のJCSS「校正証明書」と、水分計として（質量と温度）のACS「校正証明書」「検査成績書」「トレーサビリティ体系図」となります。料金は、JCSS校正料金とACS校正料金の両方が必要となります。
- SBシリーズなどの計量台+指示計（AD-44・・・等）と組合わせてのJCSS校正は別途ご相談ください。



② 現地校正 ※ 他社製品も承ります。

(税抜)

料金体系（基本料金 + 校正料金 + 証明書発行手数料 + その他）		
	JCSS校正	ACS 校正
基本料金	○ ￥18,000	○ ￥18,000
校正料金	● <表B>校正料金表(JCSS校正)に基づく	● <表B>校正料金表(ACS校正)に基づく
証明書内容・料金	JCSS校正証明書(校正料金に含まれる)	● 校正証明書、検査成績書、トレーサビリティ体系図の3点セット ￥10,000 《複数発行割引》2～9セット:80%、10セット以上:50%
その他	○ 派遣費(宿泊費含む)※ ¹	○ 派遣費(宿泊費含む)※ ¹

※¹ P.16をご参照ください。

○：台数に関わらず一律の料金

●：校正を行う製品の台数分必要

<表B> 校正範囲・校正料金表(1台あたり)

(税抜)

はかりの能力タイプ		JCSS 校正	ACS 校正
		校正料金(証明書料金込み)	校正料金
目量	0.001 mg	¥60,000	¥20,000
目量	0.01 mg	¥40,000	¥16,000
目量	0.1 mg	¥24,000	¥12,000
ひょう量	12 kg 以下	¥18,000	¥5,000
ひょう量	100 kg 以下	¥24,000	¥12,000
ひょう量	200 kg 以下	¥40,000	¥15,000
ひょう量	※ ² 300 kg 以下	¥70,000	¥38,000
ひょう量	※ ² 600 kg 以下	準備中	¥43,000
ひょう量	※ ² 1200 kg 以下	準備中	¥55,000
目量の数	3000d 以下 (ひょう量 12kg 以下のモデルのみ)	¥15,000	¥4,000

● ひょう量1200kgを超えたはかりは別途ご相談ください。

● 一製品の能力が、「はかりの能力タイプ」項で重複する場合、校正料金の高い方の能力タイプが適用されます。

(例：目量0.01mg/0.1mgの複目量はかりの場合、目量0.01mgの料金が適用されます。ひょう量12kgを超える場合、目量の数3000d以下でも、「ひょう量100kg以下」/「ひょう量200kg以下」の料金が適用されます。

● 水分計(MS/MX/MF/MLシリーズ)については、別途お問い合わせください。

● SBシリーズなどの計量台+指示計(AD-44・等)と組合わせたのJCSS校正は別途ご相談ください。

※² ひょう量200kgを超えたはかりの場合、当社の分銅を現地に持込み使用する場合、200kgを超えた分の分銅について¥800/10kgの分銅の使用料が別途必要になります。

③ 恒久施設(引取)校正 ※ 校正対象製品は弊社製品に限ります。

(税抜)

料金体系 (基本料金 + 校正料金 + 証明書発行手数料 + その他)		
	JCSS校正	ACS 校正
基本料金	● ¥18,000	なし
校正料金	● <表C>校正料金表(JCSS校正)に基づく	● 修理料金体系の点検料金の取り扱い
証明書内容・料金	JCSS校正証明書(校正料金に含まれる)	● 校正証明書、検査成績書、トレーサビリティ体系図の3点セット ¥10,000
その他	なし ※1	なし ※1

※1 校正を依頼される機器の運送料(往路)は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。

●：校正を行う製品の台数分必要

<表C> 校正範囲・校正料金表(1台あたり)

(税抜)

はかりの能力タイプ	JCSS 校正	ACS 校正
	校正料金(証明書料金込み)	校正料金
目量 0.001 mg	¥60,000	修理料金体系の適用 (お問い合わせください)
目量 0.01 mg	¥40,000	
目量 0.1 mg	¥24,000	
ひょう量 12kg 以下	¥18,000	
ひょう量 100kg 以下	¥24,000	
ひょう量 200kg 以下	¥40,000	
ひょう量 300kg 以下	¥70,000	
ひょう量 600kg 以下	準備中	
ひょう量 1200kg 以下	準備中	
目量の数 3000d 以下 (ひょう量 12kg 以下のモデルのみ)	¥15,000	

- ひょう量1200kgを超えたはかりは、別途ご相談ください。
- 一製品の能力が、「はかりの能力タイプ」項で重複する場合、校正料金の高い方の能力タイプが適用されます。
(例：目量0.01mg/0.1mgの複目量はかりの場合、目量0.01mgの料金が適用されます。ひょう量12kgを超える場合、目量の数3000d以下でも、「ひょう量100kg以下」/「ひょう量200kg以下」の料金が適用されます。
- 水分計(MS/MX/MF/MLシリーズ)については、別途お問い合わせください。
- SBシリーズなどの計量台+指示計(AD-44・等)と組合わせてのJCSS校正は別途ご相談ください。
弊社の計量台と指示計の組合せのみ承ります。
- 校正を依頼する機器を発送する際に、必ず以下の書類(コピーでも可)を同梱してください。
「校正見積 申込書/登録申込書 共通用紙」(本カタログP17参照) + はかり専用紙
尚、2回目以降のお申込みの場合：上記の書類の「ID番号」欄に登録証のID番号を必ずご記入ください。

※ クレーンスケールについては、JCSS校正はございません。

ACS校正のみ承ります。料金は¥46,000(税抜)となります。



※ その他のはかり校正

ACS校正・点検ではチェックスケール、タンクスケール、ホップスケール、システムはかり等の校正も承っておりますので別途お問い合わせください。

ACSS品目 力（一軸試験機）校正のご案内



ACSS品目 力（一軸試験機）校正は、お客様の現地におけるJCSS校正またはACS校正を主軸とした校正サービスです。

工場出荷時校正は可能ではありますが、工場での校正結果と一軸試験機が設置された環境での条件は必ずしも同じでないケースがございます。お客様の現地での校正を行うことを推奨いたします。

1) ご提供プラン（工場出荷時校正／現地校正）

（税抜）

料金体系（基本料金＋校正料金＋証明書発行手数料＋その他）		
	JCSS校正	ACS 校正
基本料金	● ※1	● ※1
校正料金	● ※1	● ※1
証明書内容・料金	● JCSS校正証明書 ¥15,000	● 校正証明書、検査成績書、トレーサビリティ体系図の3点セット ¥10,000
その他	○ 派遣費（宿泊費含む）※2	○ 派遣費（宿泊費含む）※2

※1 基本料金、校正料金は見積りとなります。

※2 P.16をご参照ください。工場出荷時校正には必要ありません。

○：台数に関わらず一律の料金

●：校正を行う製品の台数分必要

2) 校正範囲

校正範囲	
圧縮力 / 引張力	0.2N 以上 300KN 以下

3) 校正方法

JIS B 7721 [引張・圧縮試験機－力計測系の校正・検証方法] に基づく校正

4) 校正の見積依頼

他社製も別途ご相談ください。

校正タイプ	工場出荷時校正／現地校正
JCSS 校正／ ACS 校正	一軸試験機の校正料金は試験機のタイプ、ロードセル容量、校正レンジの要素により構成されています。 校正をご希望の一軸試験機の [タイプ]、[ロードセル容量]、[校正レンジ] を弊社ホームページに掲載されている [一軸試験機専用用紙] にご記入のうえ見積をご依頼ください。 ※ 伸び計校正、引張校正における破断試験、恒温槽の温度校正等は別途ご相談ください。

ACSS品目 力（力計）校正のご案内

エー・アンド・デイグループは国内最大の【10MN（圧縮）】から国内最小の【10N（圧縮/引張）】まで、1社でカバーできる試験能力を持つ唯一の事業者です。【10MN】用標準機は、独立行政法人産業技術総合研究所の標準器と同じ間口を持ち、最小の【10N】は、エー・アンド・デイグループでのみ試験が可能です。



ACSS品目 力計の校正（ループ計（環状バネ型、容積型等））およびロードセルと指示計が組合わされた力計の校正は、株式会社エー・アンド・デイグループであるリトラ株式会社において、工場出荷時およびお客様の力計をお預かりし校正するJCSS校正またはACS校正を主軸とした校正サービスです。

（JCSSロゴ付きの「校正証明書」の発行者は弊社関連会社のリトラ株式会社（登録事業者番号0099）となります。）

注意事項：弊社のロードセルとインジケータの組合せによる力計の校正をご依頼される場合、定格容量（インジケータが表示する最大値）、最小表示値（インジケータの表示値の最小値）などの各調整料等が必要となります。弊社ホームページに【力計専用紙】が掲載されていますのでご参照ください。

★ 弊社標準力計のAD-1661シリーズは、工場出荷時よりJCSSの校正証明書が価格に含まれます。

AD-1661シリーズの恒久施設（引取）校正の料金については、お問合せください。

1) ご提供プラン ※ 力計の校正にあたっては、お客様のご要望に応じた調整費等の組合せによる料金が別途必要となります。

① 工場出荷時校正

（税抜）

料金体系（基本料金 + 校正料金 + 証明書発行手数料 + その他）		
	JCSS校正	ACS 校正
基本料金	なし	なし
校正料金	● 〈表D〉校正料金表（JCSS校正）に基づく	● 〈表D〉校正料金表（ACS校正）に基づく
証明書内容・料金	JCSS校正証明書（校正料金に含まれる）	● 校正証明書、検査成績書、トレーサビリティ体系図の3点セット ¥10,000
その他	● 各調整料等※1	● 各調整料等※1

※1 お客様のご要望による調整費等の組み合わせで決まる料金になります。

●：校正を行う製品の台数分必要

② 現地校正 特殊ロードセル及び大容量（～30MN・圧縮荷重のみ）も承ります。

P.10の「2）その他のサービス」をご参照ください。お打合せの上お見積算出させていただきます。

③ 恒久施設（引取）校正

※ 校正をご依頼の際には、事前にお問合せをお願い致します。

（税抜）

料金体系（基本料金 + 校正料金 + 証明書発行手数料 + その他）		
	JCSS校正	ACS 校正
基本料金	● ¥10,000	● ¥10,000
校正料金	● 〈表D〉校正料金表（JCSS校正）に基づく	● 〈表D〉校正料金表（ACS校正）に基づく
証明書内容・料金	JCSS校正証明書（校正料金に含まれる）	● 校正証明書、検査成績書、トレーサビリティ体系図の3点セット ¥10,000
その他	● 各調整料等※1	● 各調整料等※1

※1 お客様のご要望による調整費等の組み合わせで決まる料金になります。

●：校正を行う製品の台数分必要

校正を依頼される機器の運送料（往路）は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。

＜ 注意事項 ＞

① 恒久施設に引取っての校正を行う場合

ご使用中の指示計（インジケータ）とセットでご送付ください。

② 校正を依頼される機器の荷造り梱包費について

弊社に発送される力計の重量が10kg超/1梱包の場合、返送の荷造り梱包費が別途必要となりますのでご了承ください。

③ 校正を依頼される機器に同梱する書類について

校正を依頼する機器を発送する際に、必ず以下の書類（コピーでも可）を同梱してください。

「校正見積 申込書/登録申込書 共通用紙」（本カタログP17参照） + 力計専用紙

尚、2回目以降のお申込みの場合：上記の書類の「ID番号」欄に登録証のID番号を必ずご記入ください。



〈表D〉 校正範囲・校正料金表(1台あたり)

(税抜)

指示計の最大表示値			JCSS 校正	ACS 校正
			校正料金(証明書料金込み)	校正料金
1 MN を超 ～ 10 MN 以下	圧縮		¥330,000	¥260,000
500 KN を超 ～ 1 MN 以下	圧縮 / 引張		¥230,000	¥180,000
200 KN を超 ～ 500 KN 以下	圧縮 / 引張		¥110,000	¥90,000
20 KN を超 ～ 200 KN 以下	圧縮 / 引張		¥75,000	¥60,000
5 KN を超 ～ 20 KN 以下	圧縮 / 引張		¥46,000	¥34,000
500 N を超 ～ 5 KN 以下	圧縮 / 引張		¥46,000	¥34,000
10 N を超 ～ 500 N 以下	圧縮 / 引張		¥35,000	¥23,000

※ 校正料金は圧縮または引張、片方向での料金となります。両方向の場合、表示価格の2倍になります。

〈 注意事項 〉 下記条件の場合は別途見積対応とさせていただきます。

① 力計の標準ポイント以外での校正

力計の校正ポイントは弊社の標準ポイントで対応させていただきます(JCSS力計校正では、一測定方向の校正ポイントは8ポイントを標準としております。)、標準ポイント以外のポイントにつきましては別途見積となります。

② 他社製 力計の校正

弊社が保有する標準設備で校正可能かどうかの確認を行う必要があります。また校正作業に必要な取扱説明書および治具(耐圧板、金具等)は必ず添付していただけるようお願いいたします。

校正の範囲及び最高測定能力

事業の区分及び分類		試験力の範囲		最高校正精度	試験力の範囲		最高校正精度
力	力計	圧縮力	250KN 以上 ～ 10MN 以下	±0.03%	引張力	50KN 以上 ～ 1MN 以下	±0.01%
			250KN 以上 ～ 6MN 以下	±0.02%		5KN 以上 ～ 200KN 以下	±0.01%
			50KN 以上 ～ 1MN 以下	±0.01%		3KN 以上 ～ 200KN 以下	±0.02%
			3KN 以上 ～ 200KN 以下	±0.02%		2KN 以上 ～ 20KN 以下	±0.01%
			1KN 以上 ～ 20KN 以下	±0.01%		1KN 以上 ～ 20KN 以下	±0.02%
			100N 以上 ～ 5KN 以下	±0.01%		100N 以上 ～ 5KN 以下	±0.01%
			10N 以上 ～ 500N 以下	±0.01%		10N 以上 ～ 500N 以下	±0.01%

2) その他のサービス

■ ロードセル単体の校正 (ロードセル校正はACS校正のみ対応)

※ ロードセル単体の校正は、弊社標準校正ポイントでの設定が基本となっています。恒久施設(引取)校正時に、お客様のご要望に応じた校正ポイント、校正方向等がある場合は、別途各調整料等が必要となりますので、弊社ホームページに掲載されている[ロードセル専用紙]をご確認ください。

ロードセル単体での出荷時の証明書は、力ではなく、定格出力(mV/V)です。

〈 注意事項 〉

調整BOXが付いているロードセルは、別途調整費が必要になります。引張・圧縮 両方向の場合は、表示価格の2倍になります。

① 工場出荷時校正

(税抜)

料金体系 (基本料金 + 校正料金 + 証明書発行手数料 + その他)	
	ACS 校正
基本料金	なし
校正料金	● ¥10,000
証明書内容・料金	校正証明書、検査成績書、トレーサビリティ体系図 (校正料金に含まれる)
その他	なし

※ 弊社標準ポイントでの校正となります。

● : 校正を行う製品の台数分必要



② 現地校正 (現地校正のサービスはありません)

③ 恒久施設(引取)校正

・ 力計に順ずるACS校正のみになります。〈表D〉校正範囲及び校正料金表のACS校正をご参照ください。

※ 校正をご依頼の場合は事前に弊社営業担当者までお問合せください。

・ 校正を依頼する機器を発送する際に、必ず以下の書類(コピーでも可)を同梱してください。

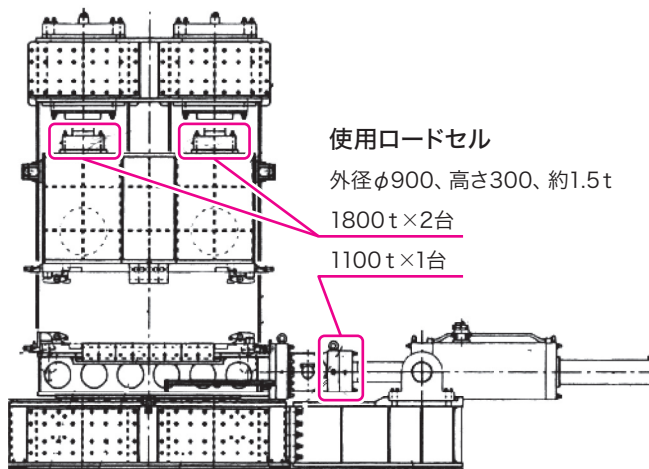
「校正見積 申込書/登録申込書 共通用紙」(本カタログP17参照) + ロードセル単体専用紙

尚、2回目以降のお申込みの場合:上記の書類の「ID番号」欄に登録証のID番号を必ずご記入ください。

《 注意事項 》他社製ロードセルの校正は、別途見積対応とさせていただきます。

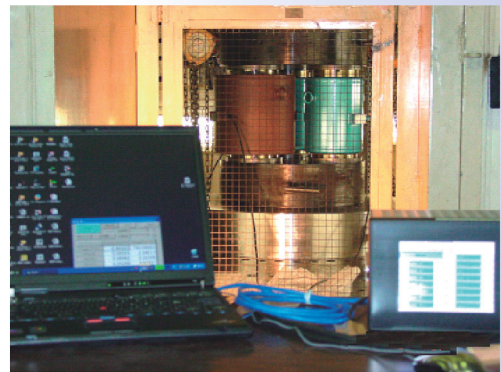
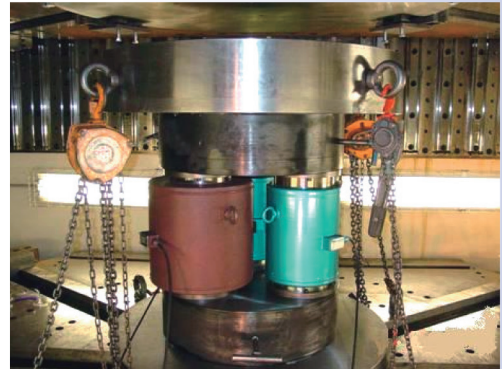
■ 現地大容量試験機の校正

免振ゴム試験機



校正風景

10MN基準ロードセル3個使用



現地での大容量(10N～30MNまでの圧縮荷重)校正

JCSS校正された高精度特殊力計を使用し、10N～30MNまでの圧縮荷重装置の現地校正を行うことが可能です。

(例：構造物試験機、プレス機、コンクリート試験機、大型万能試験機等の各種試験機)

- 大容量の校正ができなくて困っている。
- 装置から力計(ロードセル等)を取外すのに費用が高く困っている。
- 装置の精度を管理したい。
- トレーサビリティの確保。

このようなコスト、納期、精度管理の問題を解決することが可能です。お気軽にご相談ください。

基準ロードセル

3MN



品質保証機関に納入

20MN



国家標準機関に納入

ACSS品目 質量（分銅）校正のご案内



ACSS品目 質量（分銅）校正は、工場出荷時および弊社校正室にお客様の分銅をお預かりして校正するJCSS校正またはACS校正を主軸とした校正サービスです。

ご提供プラン

① 工場出荷時校正

弊社の分銅AD-1600A(10kg/20kg)、AD-1600(50g~20kg)、AD-1601(50g~200g)、AD-1602(1g~20kg)シリーズをご購入と同時に校正をご依頼の場合は、校正料金表の価格より¥5,000割引となります。

(税抜)

料金体系（基本料金 + 校正料金 + 証明書発行手数料 + その他）		
	JCSS 校正	ACS 校正
基本料金	なし	なし
校正料金	● 〈表E〉校正料金表(JCSS校正)に基づく (P.13参照) ※ 弊社の分銅AD-1600、AD-1600A、AD-1601、AD1602については、分銅1個につき¥5,000割引	● 〈表E〉校正料金表(ACS校正)に基づく (P.13参照)
証明書内容・料金	JCSS校正証明書(校正料金に含まれる)	校正証明書、検査成績書、トレーサビリティ体系図(校正料金に含まれる)
その他	なし	なし

●：校正を行う製品の台数分必要

② 恒久施設(引取)校正 ※ 他社製の分銅も承ります。

(税抜)

料金体系（基本料金 + 校正料金 + 証明書発行手数料 + その他）		
	JCSS 校正	ACS 校正
基本料金	なし	なし
校正料金	● 〈表E〉校正料金表(JCSS校正)に基づく (P.13参照)	● 〈表E〉校正料金表(ACS校正)に基づく (P.13参照)
証明書内容・料金	JCSS校正証明書(校正料金に含まれる)	校正証明書、検査成績書、トレーサビリティ体系図(校正料金に含まれる)
その他	なし ※1	なし ※1

※1 校正を依頼される機器の運送料(往路)は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。

校正料金の合計が¥14,000以下の場合、返送の送料として別途¥4,000が必要となります。

●：校正を行う製品の台数分必要

A&Dの分銅

分銅の型式	AD1602-***E2	AD1602-***F1	AD1601-***	AD1600-***	AD1600A-***
分銅の等級	OIML E2 級相当	OIML F1 級相当			OIML M1/M2 級相当
分銅の形状	OIML 分銅			基準分銅	枕分銅

〈表E〉 校正範囲・校正料金表(1個あたり)

(税抜)

分銅公称値	校正クラス1		校正クラス2				校正クラス3	
	OIML E2級相当		OIML F1級相当		OIML F2級相当		OIML M1/M2級相当	
	JCSS/ACS 校正料金（証明書料金込み）							
	JCSS校正	ACS校正	JCSS校正	ACS校正	JCSS校正	ACS校正	JCSS校正	ACS校正
20kg	¥38,000	—	¥22,000	¥18,000	¥20,000	¥17,000	¥14,000	¥12,000
10kg	¥27,000	—	¥21,000	¥17,000	¥17,000	¥14,000	¥12,000	¥10,000
2kg ～ 5kg	¥25,000	—	¥20,000	¥16,000	¥14,000	¥11,000	¥10,000	¥9,000
500g ～ 1kg	¥17,000	—	¥16,000	¥14,000	¥12,000	¥10,000	¥8,000	¥7,000
5g ～ 200g	¥14,000	—	¥12,000	¥10,000	¥9,000	¥ 7,000	¥6,000	¥5,000
1mg ～ 2g	¥10,000	—	¥9,000	¥7,000	¥7,000	¥5,000	¥5,000	¥4,000

※ 表中の"—"は校正範囲外を表します。

〈注意事項〉

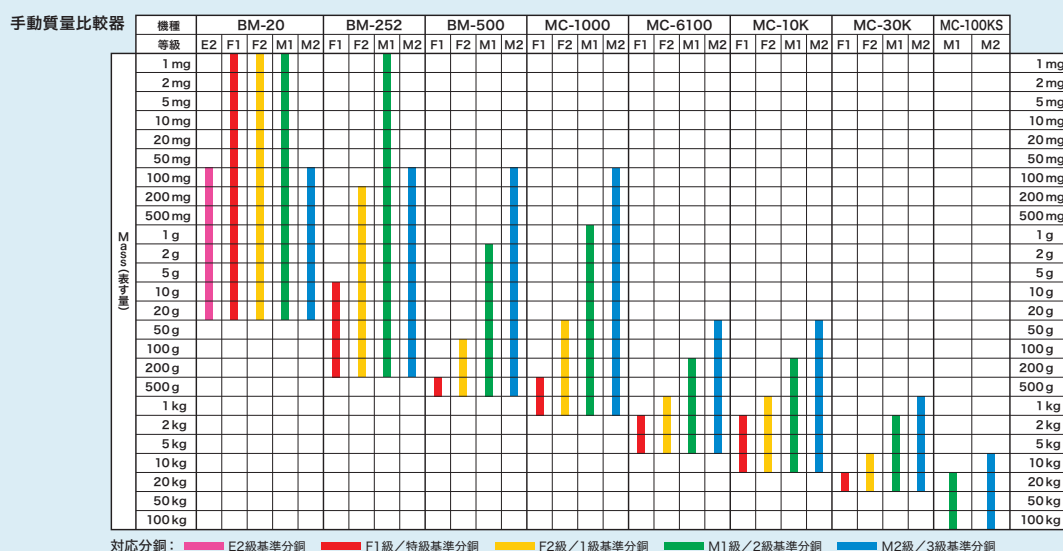
- ① AD-1600-400(400g)、AD-1600-4K(4kg)、AD-1600-8K(8kg)はJCSS校正はできません。ACS校正のみとなります。
ACS校正の校正証明書・検査成績書・トレーサビリティ体系図の発行は可能です。
- ② ご依頼される分銅については下記の点にご注意ください。分銅の状態によっては校正ができない場合がございます。
 - ・分銅のキズ・サビ・メッキや塗装の剥げ等がないこと。
 - ・分銅の収納箱、収納ケースがあり、分銅の製造メーカーを特定する銘板等が貼付されていること。
(※ 分銅メーカーが不明の場合、分銅の特性評価ができませんのでJCSS校正はお受けできません。ACS校正での対応は可能です。)
 - ・分銅の等級表示・個体識別記号の表示があること。
- ③ 校正を依頼する機器を発送する際に、必ず以下の書類(コピーでも可)を同梱してください。
「校正見積 申込書/登録申込書 共通用紙」(本カタログP17参照) + 分銅専用紙
尚、2回目以降のお申込みの場合：上記の書類の「ID番号」欄に登録証のID番号を必ずご記入ください。

※ その他のサービス

分銅の器差調整、再メッキ、再塗装につきましては別途見積とさせていただきます。

マスコンパレータ(質量比較器)

OIML E2級以下の標準分銅の管理、実用基準分銅の器差調整に



■ 重心調整皿とAD-8922A装着時



ACSS品目 トルクメータ校正のご案内

ACSS品目 トルク校正は、株式会社エー・アンド・ディグループであるリトラ株式会社において、工場出荷時および、お客様のトルクメータをお預かりして校正する、JCSS校正またはACS校正を主軸とした校正サービスです。



(JCSSロゴ付きの「校正証明書」の発行者は、弊社関連会社のリトラ株式会社〈登録事業者番号0099〉となります。)

ご提供プラン

① 工場出荷時校正

(税抜)

料金体系（基本料金 + 校正料金 + 証明書発行手数料 + その他）		
	JCSS校正	ACS 校正
基本料金	なし	なし
校正料金	● 〈表F〉校正料金表(JCSS校正)に基づく	● 〈表F〉校正料金表(ACS校正)に基づく
証明書内容・料金	JCSS校正証明書(校正料金に含まれる)	● 校正証明書、検査成績書、トレーサビリティ体系図の3点セット ¥10,000
その他	● 各調整料等 ※ ¹	● 各調整料等 ※ ¹

※¹ お客様のご要望による調整費等の組み合わせで決まる料金になります。

●：校正を行う製品の台数分必要

② 恒久施設(引取)校正 ※ 校正をご依頼の際には、必ず事前にお問合せをお願い致します。

(税抜)

料金体系（基本料金 + 校正料金 + 証明書発行手数料 + その他）		
	JCSS校正	ACS 校正
基本料金	● ¥10,000	● ¥10,000
校正料金	● 〈表F〉校正料金表(JCSS校正)に基づく	● 〈表F〉校正料金表(ACS校正)に基づく
証明書内容・料金	JCSS校正証明書(校正料金に含まれる)	● 校正証明書、検査成績書、トレーサビリティ体系図の3点セット ¥10,000
その他	● 各調整料等 ※ ²	● 各調整料等 ※ ²

※² お客様のご要望による調整費等の組み合わせで決まる料金になります。

●：校正を行う製品の台数分必要

校正を依頼される機器の運送料(往路)は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。

〈表F〉校正範囲・校正料金表（1台あたり） ※ 左右両ねじり、増加トルク校正の場合

(税抜)

トルク校正範囲	JCSS 校正	ACS 校正
	校正料金(証明書料金込み)	校正料金
5 N・m 以上 ～ 50 N・m 以下	¥140,000	¥100,000
10 N・m 以上 ～ 100 N・m 以下	¥140,000	¥100,000
10 N・m 以上 ～ 200 N・m 以下	¥140,000	¥100,000
20 N・m 以上 ～ 300 N・m 以下	¥180,000	¥120,000
30 N・m 以上 ～ 500 N・m 以下	¥180,000	¥120,000
100 N・m 以上 ～ 1000 N・m 以下	¥180,000	¥120,000

校正範囲及び校正ポイント

計量器等の区分	校正範囲左右両ねじり	校正ポイント数	校正ステップ (N・m)						
トルク計測機器	5 N・m 以上 ～ 50 N・m 以下	Inc : 5	5	10	20	30	50		・左右両ねじり ・増加トルク 校正 ※1
	10 N・m 以上 ～ 100 N・m 以下	Inc : 6	10	20	40	60	80	100	
	10 N・m 以上 ～ 200 N・m 以下	Inc : 5	10	30	90	150	200		
	20 N・m 以上 ～ 300 N・m 以下	Inc : 5	20	60	120	200	300		
	30 N・m 以上 ～ 500 N・m 以下	Inc : 5	50	100	200	300	500		
	100 N・m 以上 ～ 1000 N・m 以下	Inc : 6	100	200	400	600	800	1000	

※1 減少トルク校正については別途ご相談ください。

＜ 注意事項 ＞

- ① トルクメータとは、トルク変換器、ケーブル、指示装置を含む一体としてのトルク計測機器です。
校正依頼時には作業に必要な、取扱説明書、治具などを必ず添付してください。
(治具等が用意できない場合は、別途ご相談ください。)
- ② 弊社の標準機で校正可能なトルクメータの形状は、両端がφ30またはφ50の丸棒に治具等で変換できる形状の物になります。
校正に必要な治具の製作もお受けできますのでお気軽にご相談ください。
- ③ 校正を依頼される機器の荷造り梱包費について、弊社に発送されるトルクメータの重量が10kg超/1梱包の場合、返送の荷造り梱包費が別途必要となりますのでご了承ください。
- ④ 機器の不具合や治具等の準備が不備な場合は、校正依頼を承れない場合がございます。
- ⑤ 校正を依頼する機器を発送する際に、必ず以下の書類(コピーでも可)を同梱してください。
「校正見積 申込書/登録申込書 共通用紙」(本カタログP17参照) + **トルクメータ専用紙**
尚、2回目以降のお申込みの場合: 上記の書類の「ID番号」欄に**登録証のID番号を必ずご記入ください。**

※ その他のサービス

ご希望により、トルクメータにおいては指示計(インジケータ)の調整も承っております。(別途見積)
弊社の指示計以外の場合は、指示計の取扱説明書をご用意していただけますようお願いいたします。

トルク基準機

特定二次標準器 (参照用トルクメータ)	
100 N・m	1000 N・m



実荷重式トルクメータ基準機		
種類	トルクメータ	
校正範囲 および 最高測定能力	左右両ねじり 5 N・m 以上 1 kN・m 以下	0.088 % *1 *2 0.177 % *3
	左右両ねじり 10 N・m 以上 1 kN・m 以下	0.062 % *1 *2 0.103 % *3
	左右両ねじり 30 N・m 以上 1 kN・m 以下	0.040 % *1 *2 0.056 % *3



*1 増加トルクのみ校正を行った場合。

*2 増加及び減少トルクの校正を行い、減少トルクはヒステリシスとして増加トルクの不確かさに含める場合。

*3 増加及び減少トルクの校正を行い、減少トルクの不確かさを増加トルクとは別に評価する場合。

ACSS品目 ピペット校正のご案内

ACSS品目ピペット校正は、工場出荷時および恒久施設校正を主軸とした校正サービスです。^{※1}
ISO8655-6の重量法に準拠した検定、またはメーカー基準による検査を実施し判定を行います。

ご提供プラン

① 工場出荷時校正

料金体系（基本料金 + 校正料金 + 証明書発行手数料 + その他）		
	JCSS校正	ACS 校正
基本料金	準備中	なし
校正料金		● 〈表A〉校正料金表(ACS校正)に基づく
証明書内容・料金		校正証明書、検査成績書、トレーサビリティ体系図 校正料金に含まれる
その他		なし

〈表A〉校正方法・校正料金表（1台あたり）

●：校正を行う製品の台数分必要
(税抜)

測定ポイント	測定回数	ACS校正	JCSS校正
		校正料金	
2点 ^{※2}	5回	¥3,900	準備中
3点 ^{※3}	10回	¥6,900	

② 恒久施設校正（弊社にピペットを送付して実施する校正です）

料金体系（基本料金 + 校正料金 + 証明書発行手数料 + その他）		
	JCSS校正	ACS 校正
基本料金	準備中	なし
校正料金		● 〈表B〉校正料金表(ACS校正)に基づく
証明書内容・料金		校正証明書、検査成績書、トレーサビリティ体系図 校正料金に含まれる
その他		なし

〈表B〉校正方法・校正料金表（1台あたり）

●：校正を行う製品の台数分必要
(税抜)

校正パターン	測定ポイント	測定回数	ACS校正	JCSS校正
			校正料金	
受入 ⇒ 整備 ^{※4} ⇒ 校正	2点 ^{※1}	5回	¥4,900	準備中
受入時校正 ⇒ 整備			¥4,900	
受入時校正 ⇒ 整備 ⇒ 校正			¥8,600	
受入 ⇒ 整備 ⇒ 校正	3点 ^{※2}	10回	¥7,900	
受入時校正 ⇒ 整備			¥7,900	
受入時校正 ⇒ 整備 ⇒ 校正			¥14,400	

※1 弊社製のピペットに限ります。

※2 公称容量の100%、10%もしくは最小容量の2ポイントで5回測定します。

※3 ISO8655-6の重量法に準拠し、公称容量の100%、50%、10%もしくは最小容量の3点について各10回測定します。

※4 「整備」とはピペットの点検として、クリーニング、リークチェック、動作確認を行います。

記入申込書サンプル

ACSS

校正見積申込書／登録申込書

★依頼者が記入願います。

AND
エーアンドディ

共通用紙

Step 1 お客様のお名前、ご住所等を下表にご記入ください。 ※印は必須項目です。

※申込日	年 月 日		
※会社名(機関名)	フリガナ		
※住所	〒	都道府県	市区町村 番地 ビル名
※依頼者所属部署			
※依頼者氏名	姓	フリガナ	名 フリガナ
※TEL			FAX
※E-mail			
校正証明書に 表示する	※名義者名	☐ 同上会社名 ☐ 他(下記へ記入願います)	
	※名義者住所	☐ 同上住所 ☐ 他(下記へ記入願います)	
英文証明書が 必要な場合	※会社名	英文表記	
	※住所	英文表記	
※校正周期	1回 / () 年 その他()		
※販売店名			
※販売店担当者			
※TEL			FAX

Step 2 今回初めてのお申込みですか？ ☐ はい ☐ いいえ

2回目以降の場合は、お客様登録カード(または会員証)の
お客様ID番号(会員番号)をご記入ください。

ID番号

Step 3 校正の種類を選択してください。 ☐ JCSS校正 ☐ ACS校正

Step 4 校正証明書の種類を選択してください。 ☐ 和文 ☐ 英文 ※和文と英文両方の場合、
2つにチェックを入れてください。
別途¥5,000です。

Step 5 下記対応表を確認のうえ校正品目を選択してください。

校正品目	工場出荷時校正		現地校正		恒久施設校正(引取)	
	JCSS校正	ACS校正	JCSS校正	ACS校正	JCSS校正	ACS校正
はかり	○	○	○	○	△	△
一軸試験機	△	△	○	○	—	—
力計	○	○	—	○	○	○
分銅	○	○	—	—	○	△
トルク計	○	○	—	—	○	○

△: お客様の現地校正を推奨いたします。

- ☐ はかり(専用紙有)
- ☐ 分銅(専用紙有)
- ☐ 一軸試験機(専用紙有)
- ☐ 力計(ロードセル、ループ)(専用紙有)
- ☐ トルク(専用紙有)
- ☐ ロードセル(専用紙有)

Step 6 上記対応表を確認のうえ、校正形態を選択してください。

☐ 工場出荷時校正 ☐ 現地校正(専用紙有) ☐ 恒久施設校正(専用紙有)

Step 7 はかりJCSS引取校正の場合は、ご依頼する弊社の型式／製造番号をご記入ください。

型式:

製造番号:

メーカー名: A&D

感度調整実施の有無: ☐ 有 ☐ 無

弊社記入欄

受注番号	備考
受注品名	
弊社 営業部署名	
弊社 営業担当者	

お問い合わせ先 エー・アンド・ディ お客様校正相談センター **0120-957-513**

受付時間 9:00~12:00、13:00~17:00(土日祝日、年末年始、夏期休暇は除く)

校正品目などにより、共通用紙と別途専用紙が必要です。弊社ホームページ <http://www.aandd.co.jp/> の「サポート」→「校正サービス」をご参照ください。

また「校正見積申込書／登録申込書」も、こちらのページからダウンロードできます。申込書にご記入の上、ご購入店および弊社取扱販売店にご依頼ください。

〈注意事項〉証明書類の再発行および追加(和文および英文)の場合は、一式につき、一律¥5,000で承ります。

(JCSS校正およびACS校正共通)

恒久施設(引取)校正の場合、校正を依頼する機器を発送する際に、必ず以下の書類(コピーでも可)を同梱してください。

共通用紙 + 各専用紙

尚、2回目以降のお申込みの場合: 上記の書類の「ID番号」欄に登録証のID番号を必ずご記入ください。

ACSSのコンセプト

なぜ校正が必要なのでしょう？

はかりのみならず、計測器全般に言えることですが、長期間使用していると測定値にズレが発生するリスクが高くなります。

もし校正せず、知らず知らずの間に正確でない計測をおこなっていたらどうなるのでしょうか？

例えば製造部門の検査工程で使用している物であれば不合格品を合格品として出荷し品質に対する信頼を著しく低下させてしまったり、逆に合格品を不合格品としてしまえば生産量は減り、作業のやり直し等コストがかさんでしまう事になります。

定期的な校正を行う事により、測定値のズレを発見し調整する事が可能となります。

また近年では各ISOシリーズ等のグローバルな品質規格の普及により、単なる校正結果の評価だけでなくシステム化された仕組の中で製品要求事項の適合性を実証し、システムそのものの妥当性の評価までが求められる時代となってきました。

定期的な校正・日常点検等をシステム化し、製品の適合性を実証し顧客満足度を積極的に向上させる活動そのものが評価されているという時代背景の中、校正・点検を含めた一連の検証システムはますます重要になってきています。

弊社のACSSは、質量（はかり・分銅）・一軸試験機・力計・トルクメータと多様な校正技術を用意することで、お客様の企業活動に安心と信頼をご提供させていただきます。

なぜJCSS校正なのでしょう？

お客様がご使用になっている測定器の基準値 1g、1V、1℃、1m は国家または国際標準とのトレースが証明できるのでしょうか？そして、取引先の基準値と同じ値を示すのでしょうか？違っていたら大変です。

JCSS校正は使用する分銅のみでなく、その他の使用機器や校正方法までJCSS校正の規格にのっとり明確化されています。

またMRA適合のJCSS校正は協定国であれば、その国内の校正書類として通用します（ワンストップテストリング）ので、安心・信頼さらにコスト面でも有効です。

ISO9000に代表する品質システムの規定要求事項（“国際または国家標準にトレース可能な計量標準に照らして校正または検証する。”）にもあるように、国際または国家標準との整合性は重要です。

現在では国家標準にトレーサブルの証明には“不確かさ”が表記された校正証明書が不可避となり、JCSS校正で発行する校正証明書はこのような要求に適合し（国が発行する校正証明書と同等の効力をもちます。）第三者に対する証明が可能となります。

ACSSは、質量（はかり・分銅）・一軸試験機・力計・トルクメータと多様なJCSS校正をお手軽にご提供いたします。

ACSS



リトラ株式会社内「力」校正室

AND 株式会社 **エーアンド・デー**

本社:〒170-0013 東京都豊島区東池袋3丁目23番14号

■札幌出張所	TEL.03-5391-6128(直)	FAX.03-5391-6129
■仙台出張所	TEL.011-251-2753(代)	FAX.011-251-2759
■宇都宮営業所	TEL.022-211-8051(代)	FAX.022-211-8052
■東京北営業所	TEL.028-610-0377(代)	FAX.028-633-2166
■東京南営業所	TEL.048-592-3111(代)	FAX.048-592-3117
■静岡出張所	TEL.045-476-5231(代)	FAX.045-476-5232
■名古屋営業所	TEL.054-286-2880(代)	FAX.054-286-2955
■大阪営業所	TEL.052-726-8760(代)	FAX.052-726-8769
■広島営業所	TEL.06-7668-3900(代)	FAX.06-7668-3901
■福岡営業所	TEL.082-233-0611(代)	FAX.082-233-7058
	TEL.092-441-6715(代)	FAX.092-411-2815

<http://www.aandd.co.jp>

*ACSS-ADJC-09-PR8-16800